

# #3685 1/10 アライメント・セットアップ・ステーション ドリフトバージョン

この度はイーグル1/10アライメント・セットアップ・ステーション ドリフトバージョンをお買い求め頂き誠にありがとうございます。本品は1/10RCカー用のセットアップ・ステーションです。これ一つで"トー角","キャンバー角","カスター角"が簡単に測定でき、本格的なセッティングが可能です。組み立て方法、測定方法は図をご覧ください。キャンバー角は $\pm 10$ 度まで計測できるのでドリフトカー等のキャンバー角度を大きく付けたいセットアップの計測に最適です。

## 内容物



エクスプレートF×2個



エクスプレートR×2個



エクスプレート専用固定ナット×4個



キャンバーチェックプレート固定ビス×4個



ハイトゲージ&定規×1個



トーイン・トーアウトチェック用クリアプレート×1個



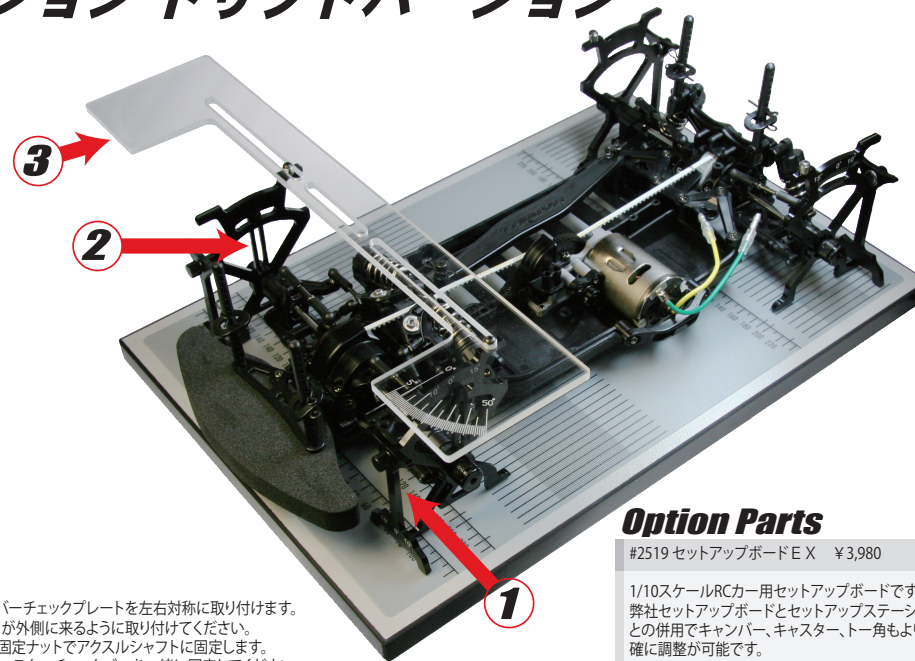
キャンバーチェックプレート×4個



カスターチェックバー×2個

## 組み立て

- ① エクスプレートにキャンバーチェックプレートを左右対称に取り付けます。このとき、プレートのメモリが外側に来るように取り付けてください。
- ② エクスプレートを専用の固定ナットでアックスシャフトに固定します。この際、フロント側のみ、カスターチェックバーと一緒に固定してください。
- ③ トーイン・トーアウトチェック用クリアプレートを乗せれば完成です。

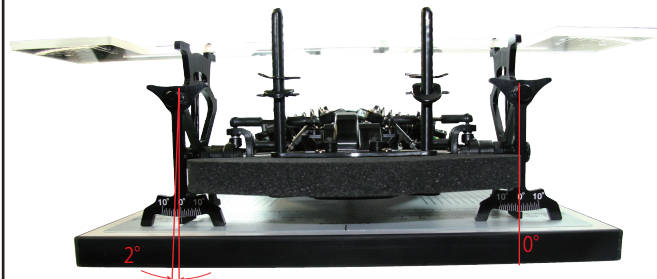


## Option Parts

#2519 セットアップボードE X ¥3,980

1/10スケールRCカー用セットアップボードです。弊社セットアップボードとセットアップステーションとの併用でキャンバー、カスター、トー角より正確に調整が可能です。

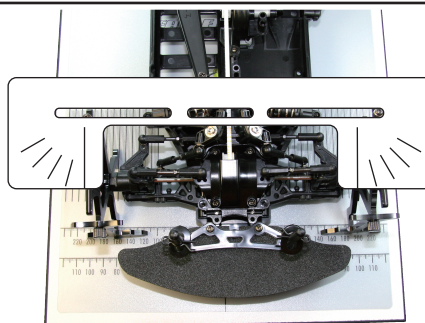
- 超硬質合板製
- アジャスタブル三点ポスト
- 水平器
- トレッド計測用メモリ付き



キャンバーチェックバーを確認しながらアッパーアームの長さを調整し好みの角度にセットします。

## キャンバー角測定

キャンバー角を調整することで、コーナリング時に起こるロールでタイヤの接地面積の低下を抑制することができ、より安定したコーナリングフォースを得ることができます。また、ドリフトの競技車両によく見られるタイヤの下側が飛び出したような状態、いわゆる「鬼キャン」状態を作り出すこともでき、スタイリッシュな車作りには欠かせない要素でもあります。

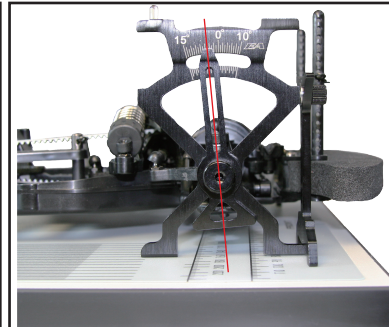


※図はイメージです。

## トーイン・トーアウト角測定

トー角のコントロールは非常に重要な要素です。ほとんどの車両はリア側にわずかなトーインがつけられています。これは、リアをトーインにすることで直進安定性能が向上するためです。フロント側でも同じことが言えますが、方向転換のために回転する構造になっているフロント側は、直進安定性よりもトーインでオーバーステア、トーアウトでアンダーステアの特性が出ることを考慮してセッティングする必要があります。ここで、オーバーやアンダーのセッティングを出すのではなく、足回りのセッティングで思っていたよりどちらかが強く出てしまった時フロントのトー角で修正するのが良いでしょう。

測定する側と反対の方向へクリアプレートをずらしトー角を測定します。その後、お好みに合わせてセットアップしてください。



フロントカスター角測定はカスターチェックバーの隙間からキングピンまたはハブを覗き、同じ角度に合わせて測定します。(キングピンがどれだけ傾いているかを測定するものです。)

## フロントカスター角測定

フロントカスター角では、トー角では効果的に得ることができなかったフロント側の直進安定性を得ることができます。カスター角をつけるほど直進安定性は増します。しかし、コーナリング時の初期反応は反比例します。現在の走行性能よりも直進安定性を求める場合はカスター角をつけ、コーナリング性能を求める場合はカスター角を減らすセッティングをお勧めします。

※上記のセッティング特性の部分はあくまでニュートラルな車に対して行った場合に得られるもので、様々な機能の組み合わせによっては、一概に同じ結果を生まない場合もございます。

# EAGLE RACING

〒440-0842 愛知県豊橋市岩屋町62-79  
☆その他、ご質問等がございましたらお気軽にお問い合わせください。  
☆イーグル・サービスカウンター : service11@eaglemodel.com